



高校生になって3か月が経とうとしています。初めての定期試験、取り組み内容と結果はしっかり分析できていますか？夏休み前、もう一度気持ちを引き締めていきましょう。

中間試験 講評

内容の詳細は、配布プリントをご覧ください。

昔々のそのまた昔、主要教科から遠い美術でのお話
よろしければおつきあいください。

江森コラム1話



E君の受験物語

E君は美術が好きで、高校、大学と美術系に進学しました。高校は都立芸術高校と言う、自由でのんびりした素敵な校風がある学校です。もちろんE君も青春を謳歌し、高校生活は楽しく過ごせた3年間でした。しかし3年はアツと過ぎ、大学進学となります。このE君はあまり深く考えずに東京芸術大学を受験します。E君の家は経済的理由により、私学に行くことはできません。選択肢がないところで受験できる場所は東京芸術大学だけでした。しかし当時油画科は40倍、平均浪人3浪と言われていた時期で。親からもいつまでも夢を見ていないで就職しろと言われていました。

技術がない、知識がない、情報がない、金がない、時間がない、の5無い尽くしとあるのは根拠のない自信と体力だけで入試にぶつかり、見事に砕け散ったE君でした。

さて、ここで皆さんの知らない不思議な美大の受験のお話をしてみたいと思います。芸術以外の教科における試験問題には正解解答、や模範解答が明確に存在します。あたりまえじゃないか！何言っているの！と怒られそうですが、実技試験にはその明確な模範解答がありません。出題は提示されますが、それを受けて各受験生が表現力を競い合います。芸大の油画科の定員は55人なので、55通りの表現と個性が存在します。つまり55の正解があったこととなります。しかしこれは固定されたものではなく毎年変化し、出題形式においても激しく受験生は揺さぶられます。

この事実を知ったときは遅く、E君は自分が海図を持たず、漆黒の海原に出てしまったのです。自分が下手

なのはわかる。他人が上手いのもわかる、しかし真似はしたくない。ものをそっくりに描けることが上手いこと言えるのか？そもそも良い絵とはどのようなものなのだろう？悩み悩み、出た結果は価値基準を自分で発見することでした。自分にとって美とは何か？表現力とは何か？など壮大なテーマから受験が始まったのです。親には絶対受かってやるよ！と強気に意地を張りながら、不安と孤独だけで船出をしたのでした。

次号に続く！ 生かすか、生かさぬかはあなた次第です。



オープンキャンパスについて

近年、オープンキャンパスに参加するのは早い方がより良い、とされています。これは当たり前のことで、**もっとも選択の幅が広いのは今だからです**。これから文理選択（高1秋）、科目選択（高2秋）、受験校決定（高3冬）と分岐点があるたびに皆さんの選択の幅は狭まっていくと同時に、その選択が皆さんの将来を決めていきます。**もっとも選択肢の幅が広い今だからこそ、より多くの情報が必要なのです**。大学進学後8人に1人が中退しているというデータがあります。その原因には自分のやりたいこととのミスマッチがあげられます。少ない情報で選択をして後悔するのと、多くの情報を得て選択をするのとどちらが良いでしょうか。「来年参加すればいいや」と思っている人がいるかもしれませんが、**問題を先送りにしても何も解決しません。むしろ事態は悪化します**。来年夏に参加して、その時になって文理選択を誤っていたことに気づいても後の祭りです。また、来年夏のオープンキャンパスで、行きたいと思った大学のレベルが高い場合は高2の夏からでは間に合わないケースが非常に多いです。**実は高2の夏の時点の成績で合格できる大学はほぼ決まってしまうと言っても過言ではありません**。なぜならば残された時間を増やすことはできず、限られた時間で取り組める勉強の量は限られているからです。多くの先輩たちはこの事実卒業してから気づいています。**先輩たちの経験（失敗）を活かすチャンスを無駄にしないでください**。

オープンキャンパスについては事前申し込みを必要とする大学もありますので下記サイトや校務センター前のホワイトボードを参考にしてください（<http://con.keinet.ne.jp/opencampus/>）。6月から申し込みが始まる学校や、すでにオープンキャンパスを実施している大学もあります。**選択肢の幅が狭くなってから焦って参加するのは、選択肢の幅の広い余裕のある今参加するのとどちらが皆さんにとって良いのでしょうか？**時間のある今だからこそ、積極的に参加しましょう。旅行などを兼ねて、旧帝大をはじめとする地方国公立の見学がこの時期お勧めですよ。

夏期講習会

6月20日に案内を配布しました通り、夏期講習会を開講いたします。演習を中心とした内容であり、補習的な内容や後期の授業の先取りではありません。また、グローバルサイエンス、ジェネラルラーニングに共通の講座になっております。夏休みには各教科から課題も出されますし、また演習を受講する場合には、予復習の時間も担当数必要となります。また、従来の学習部分の点検・復習等も必要となるでしょう。自分の学習状況や到達度を考えて、各自無理のない形で受講してください。

なお、補習につきましては、別途該当者に連絡して実施いたします。

夏期講習受講希望者は、申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、受付期限内に売店まで申し込んで下さい。

1. 期 日 第Ⅰ期 7月21日(火)～25日(土)
 第Ⅱ期 7月27日(月)～31日(金)
2. 教 科 国語 数学 英語 の3教科
 ※ 詳細な科目と担当については別紙をご参照ください。
3. 受講料 1講座 1,500円(教材費含む)
4. 申込み 本校売店に料金を添えて、各自で申し込みをしてください。
 ※ 受付日時：6月22日(月)～7月4日(土)まで
 ※ 受講希望者が少数の場合、開講されないことがあります。
 あらかじめご了承ください。

今後の予定

7月

2日(木) 3日(金)	7月考査
4日(土)	進路講演会
10日(金)～16日(木)	面談週間(40分授業)
17日(金)	終業集会(授業なし)
18日(土)	夏期休業

8月

27日(木)	始業集会(授業なし)
28日(金)	河合模試
31日(月)	文理適性検査



夢実現のための十則

- 夢を持て。ない夢はかなわぬ。目標なく一生懸命やることに酔うな。
- やることを与えられるな。自分のために創り出し、形にして期限を決めよ。
- 他人と関われ。他人を理解しようとしろ。他人に理解される努力をしろ。
- 挨拶をせよ。人に気付き、人に気付いてもらえる。
- 毎日他人に奉仕しろ。心がきれいなら他人も応援してくれる。
- 話を聞く姿勢を作れ。聞く人には教えたくなる。助けたくなる。
- 書け。何度でも書き直せ。書かないことは考えていないこと。
- 自分と戦え。自分は見ている。人と戦うな。気にするな。自分が変われ。
- 大事なことは最初にやれ。優先順位を考えろ。タイミングを逃すな。
- 成功を繰り返し、失敗を繰り返さぬよう分析しろ。原因を五回さかのぼれ。

